

★建設候補地の第二次選定案

昨年12月に皆様からいただいた意見を反映し、第二次選定項目案を以下のとおりとしました。

1. 2車線以上（幅員5.5m以上）の道路からの距離が500m以上のエリア
2. 平均勾配が20%以上のエリア
3. 市境からの距離100m以下のエリア

これらを施設の立地条件として不適として除外しています。

※ 現在、建物が建っているか、施設として使われているか、土地の所有者が誰かなどは考慮しておりません。

町田市民の皆さんへ

2012年2月
町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会
委員長 細見 正明

ごみの資源化施設とその建設候補地について 皆さんの声をお聞かせください。

●ごみの資源化施設の検討を進めています

今後の町田市のごみ減量化や資源化について考え方をまとめた「町田市一般廃棄物資源化基本計画」（2011年4月）に基づき、老朽化が進んでいる焼却施設の建替えにあわせ、どのような施設を町田市内のどこに建設するか検討を進めています。

●どんな施設を町田市内のどこに建設するか

町田市の清掃工場は、昭和57年の運転開始から29年が経過し施設更新の時期が迫っております。当検討委員会では今後の町田市に必要な施設として、熱回収施設（焼却施設）、生ごみを資源として活用する施設、プラスチックを資源化する施設などの検討とそれらの建設候補地を検討しています。これらの案について皆さんのご意見をお寄せください。

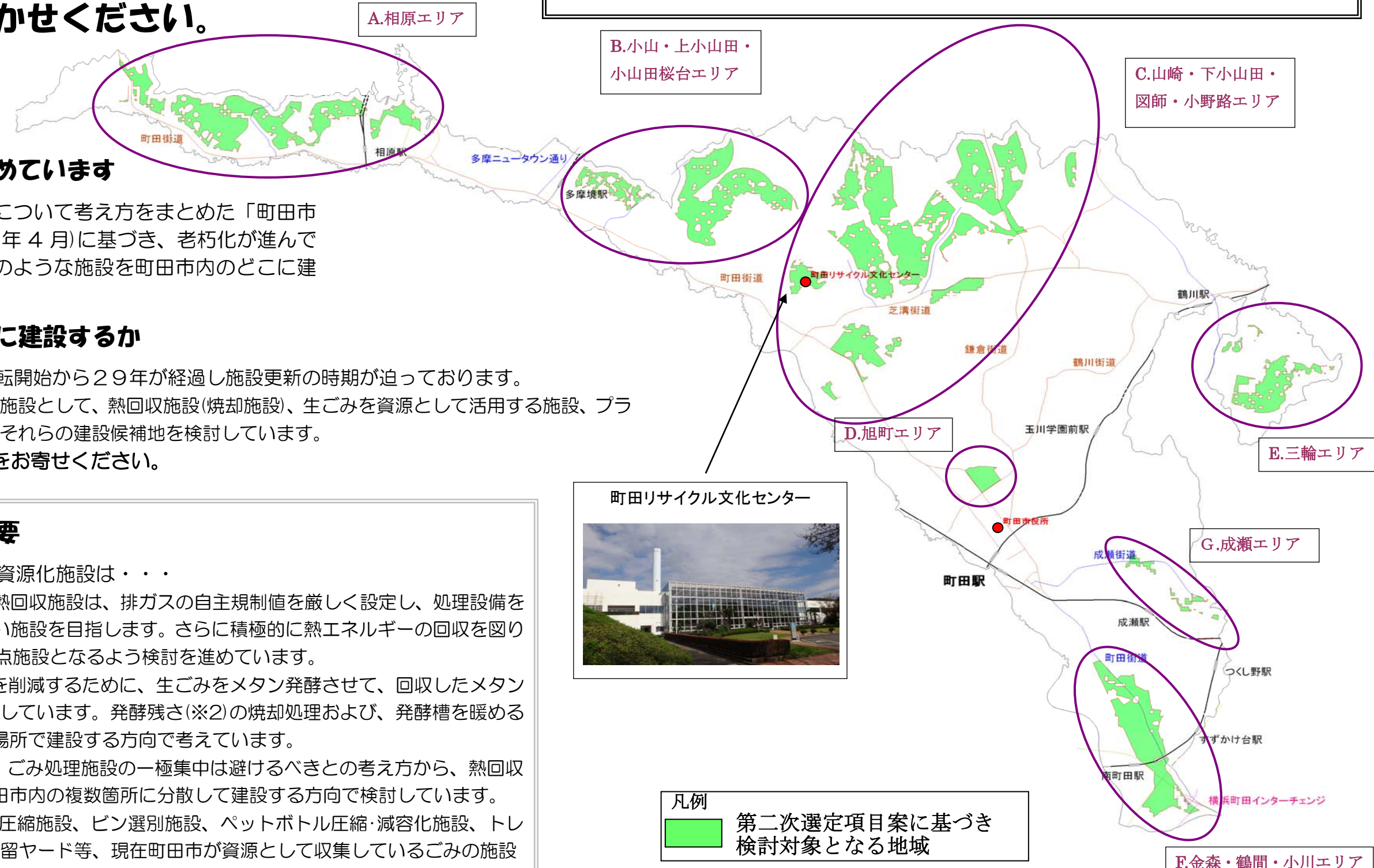
★ごみの資源化施設の検討概要

委員会で検討している主なごみの資源化施設は・・・

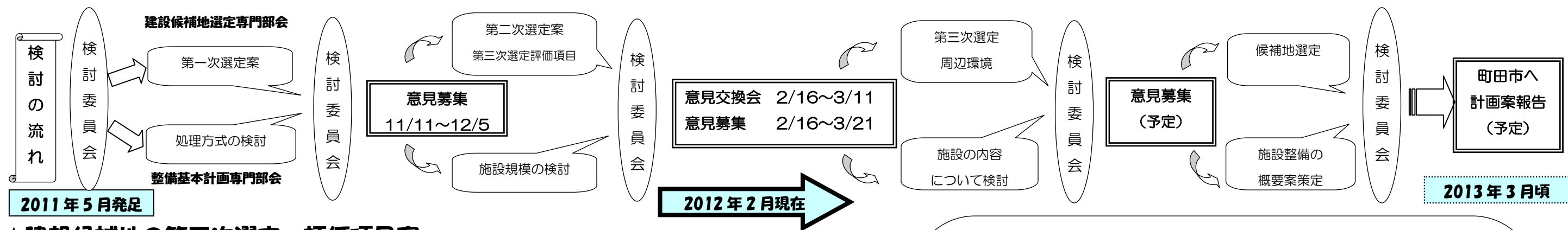
1. **熱回収施設（焼却施設）**：新しい熱回収施設は、排ガスの自主規制値を厳しく設定し、処理設備を強化することで、環境負荷がより低い施設を目指します。さらに積極的に熱エネルギーの回収を図り高効率発電を行い、災害時の防災拠点施設となるよう検討を進めています。
2. **生ごみのメタン化施設**：焼却量を削減するために、生ごみをメタン発酵させて、回収したメタンガス（※1）を有効活用する方法を検討しています。発酵残さ（※2）の焼却処理および、発酵槽を暖める必要があるため、熱回収施設と同じ場所で建設する方向で考えています。
3. **プラスチック圧縮・減容化施設**：ごみ処理施設の一極集中は避けるべきとの考え方から、熱回収施設・メタン化施設と分離して、町田市内の複数箇所に分散して建設する方向で検討しています。
4. **その他の資源化施設**：カン選別・圧縮施設、ビン選別施設、ペットボトル圧縮・減容化施設、トレイ・紙パック貯留ヤード、有害ごみ貯留ヤード等、現在町田市が資源として収集しているごみの施設についても検討しています。

※1メタンガス・・・都市ガスや燃料用ガスとして日常生活で使われています。

※2 発酵残さ・・・メタンガス回収後の残りかす



凡例
 第二次選定項目案に基づき
 検討対象となる地域



★建設候補地の第三次選定 評価項目案

評価項目	評価する理由	評価の手法
1) 機能／維持管理	①敷地の形状、地盤状況等	敷地の形状や土地の起伏が施設の有効な配置に影響を及ぼす場合があるため。また、著しく軟弱な地盤の場合、施設の耐震性に影響を及ぼすため。
	②開発行為や建築行為に対する規制等	開発行為や建築行為に規制等がある場合、許認可に要する時間が事業スケジュールに影響を及ぼすため。
	③収集運搬の効率	東西に長い町田市域において、立地が偏った場合に収集運搬の効率が低下し、また交通混雑や環境への影響が懸念されるため。
2) 環境	①緑地等の保全	町田市における貴重な緑地環境を保全し、また市民の意向を反映するため。
	②水源地の保全	町田市における湧水や河川水源など、貴重な環境を保全するため。
	③希少動植物の保全・配慮	事業にあたり、希少な動植物の生息・生育環境の保全や配慮が必要となるため。
	④周辺道路の整備状況	周辺道路の整備状況は、歩行者の安全確保、渋滞緩和などの対策の必要性に影響するため。
3) 土地利用	①教育・福祉施設等への配慮	建設候補地やその近隣に学校、保育園、その他教育や福祉に供する施設が立地している場合、収集車の通行による環境影響や交通安全などに配慮が必要と考えられるため。
4) 経済性	①用地取得費	必要な機能を確保する条件内において、費用を縮減することが望まれるため（基本的には市の所有地を活用する）。
	②初期整備費	必要な機能を確保する条件内において、費用を縮減することが望まれるため。
	③ライフライン整備費	比較的規模の大きい電力や水を調達するライフラインの整備費を考慮するため。
5) 余熱等利用	①熱利用施設等の有無	建設候補地近隣に比較的規模の大きい熱利用を行う施設が立地している場合、そこへ熱供給を行うことが有利と考えられるため。
	②メタンガス利用施設の有無	建設候補地近隣にメタンガスを利用する施設もしくは供給する施設が立地している場合、有利と考えられるため。
	③バス拠点等の有無	将来的に、施設より供給可能と考えられる電力、メタンガス（天然ガス）等のエネルギーを市内の公共交通機関に有効に活用できると考えられるため。

意見交換会へご参加下さい

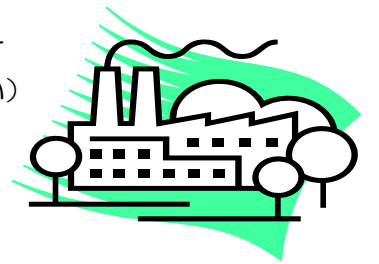
検討委員会が今後の町田市のごみの資源化施設に関する意見交換会を開催します。

- 2月16日(木)午後7時～ 町田リサイクル文化センター
- 2月20日(月)午後7時～ 成瀬センター（成瀬街道沿い）
- 2月22日(水)午後7時～ 堺市民センター
- 2月26日(日)午後2時～ 市役所本庁舎
- 2月27日(月)午後7時～ 鶴川市民センター
- 3月5日(月)午後7時～ 南市民センター
- 3月11日(日)午前10時～ 小山市民センター

定員：各100名(先着順) **事前の予約は必要ありません。**

問合せ：検討委員会事務局：環境資源部環境総務課施設計画係

TEL042-797-9615 ご来場は公共交通機関をご利用ください。



意見募集の概要

【建設候補地の選定に関して】

- ①施設の建設に必要な条件、効率性等を整理し、抽出したエリア案について
- ②抽出された候補地の比較評価を行う項目案について

【施設整備基本計画の検討に関して】

- ①熱回収施設(焼却施設)と生ごみの資源化施設から得られるエネルギーの有効活用について
- ②町田市のごみの資源化施設に望むこと
- ③施設建設にあたって配慮すべきこと

その他、お気づきの点やご意見がございましたらお聞かせください。

募集期間：2012年2月16日(木)～3月21日(水)

提出方法：郵便、FAX、Eメール、意見交換会会場または検討委員会事務局まで直接提出

お問合せ：検討委員会事務局 環境資源部環境総務課 施設計画係 TEL 042-797-9615

提出先：〒194-0202 町田市下小山田町 3160 町田市環境資源部環境総務課施設計画係

FAX : 042-797-5374 Eメール : mcity910@city.machida.tokyo.jp

注意事項：書式は自由です。ご意見、ご住所、お名前をご記入ください。

電話や窓口での口頭によるご意見提出はお受けできません。

提出いただいたご意見は委員会の中で公表し、選定に向けた検討資料に反映します。

個別回答はできません。

※検討委員会におけるこれまでの会議資料や議論の内容については、町田市ホームページに掲載しております。